



# 起業人材 及び 起業支援人材育成 プログラム

参加費 無料

定員

セミナー：各回 20 名程度

個別相談：第 2～8 回各回 6 枠程度（先着順）

## スタートアップ創出に必要な **実践的** で **リアル** な知識 を学ぶ

この度、小樽商科大学は、GAP ファンドを通じて起業を目指す研究者、大学院生及び北海道内の大学・高専内起業支援人材等を対象に、スタートアップ創出に必要な知識・ノウハウの修得を目的とした全 8 回の人材育成プログラムを開催します。

ファイナンス、法律、税務、知的戦略、人材組織開発、コーポレートガバナンス等の分野のプロフェッショナルであり、且つスタートアップやアカデミアに深い知見を持つトップクラスの専門家をお招きして、実践的でリアルな知識を学ぶプログラムとなっております。併せて、当該専門家との個別メンタリングも実施いたします。積極的にご参加ください。

## 第一回

&lt;人材育成&gt;

**スタートアップエコシステムの課題と  
起業家・支援人材に必要なリベラルアーツ**㈱アカデミック・ギャングスター  
代表取締役 中川 卓也 氏

2024/7/19 (金) 18 時～21 時

小樽商科大学 札幌サテライト  
(札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 番地  
sapporo55 ビル 3 階)  
※個別相談の予定はございません

## 第二回

&lt;産学官協業戦略&gt;

**スタートアップによる新技術の  
ビジネス化における大学の知財ガバナンス**森・濱田松本法律事務所  
パートナー弁護士 増島 雅和 氏

2024/8/29 (木) 18 時～20 時

室蘭工業大学  
(室蘭市水元町 27-1)

## 第三回

&lt;知財戦略&gt;

**大学発スタートアップに必要な知財戦略**廣瀬国際特許事務所  
代表 廣瀬 隆行 氏

2024/9/26 (木) 18 時～20 時

公立はこだて未来大学  
(函館市亀田中野町 116 番地 2)

## 第四回

&lt;組織戦略&gt;

**スタートアップの経営を支える法務メソッド  
～チームづくりと外部パートナーとの連携～**シティユウワ法律事務所  
パートナー弁護士 岡田 美香 氏

2024/10/31 (木) 18 時～20 時

道東経済センタービル会議室  
(釧路市大町 1 丁目 1 番 1 号)

## 第五回

&lt;知財契約実践&gt;

**研究開発型スタートアップ・大学発スタート  
アップのための知財・契約実践について**弁護士法人 STORIA 法律事務所  
代表・パートナー弁護士 柿沼 太一 氏

2024/11/27 (水) 18 時～20 時

旭川工業高等専門学校  
(旭川市春光台 2 条 2 丁目 1-6)

## 第六回

&lt;資金調達&gt;

**ディーベックスタートアップの  
成長戦略と資金調達**㈱ファストトラックイニシアティブ  
代表パートナー 安西 智宏 氏

2024/12/19 (木) 18 時～20 時

北見工業大学  
(北見市公園町 165 番地)

## 第七回

&lt;資本政策&gt;

**金融資本戦略、失敗の本質**㈱アカデミック・ギャングスター  
代表取締役 中川 卓也 氏

2025/1/30 (木) 18 時～20 時

北海道大学フード&メディカル  
イノベーションセンター  
(札幌市北区北 21 条西 11 丁目)

## 第八回

&lt;人材開発とインセンティブ設計&gt;

**エクイティファイナンスにおける  
優先株と新株予約権の実務**㈱アカデミック・ギャングスター  
代表取締役 中川 卓也 氏

2025/2/27 (木) 18 時～20 時

エア・ウォーターの森 (予定)  
(札幌市中央区北 8 条西 13 丁目 28-21)

## 個別相談会

各回、プログラム翌日の 9 時～12 時まで  
個別相談会を予定しております。

※第一回のみ個別相談会の予定はございません。

## ご注意

天候の影響により会場等が変更になる場合が  
ございます。予めご了承ください。

# 第1回

2024年7月19日（金） 18:00～21:00

@小樽商科大学 札幌サテライト

（札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル 3階）

## ＜人材育成＞スタートアップエコシステムの 課題と起業家・支援人材に必要なリベラルアーツ

### ープログラム紹介ー

我々を取り巻く環境は大きく変化しており、劇的なイノベーションを実現するには、これまでの仕組みや価値観を見直すだけでなく、変化・発展をさせるイノベティブな取り組みを実行できる‘人財’=アントレプレナー（ゼロから事業を起こす起業家）の育成と、新たなビジネスを生み出す可能性を高める健全な実践環境の整備が必要です。

加えて、新たな様式・価値を生み出すことが期待されるスタートアップが創出され、成長・成功するためには、“経営のためのリベラルアーツ”が必要です。

ビジネスリテラシーをバランスよく俯瞰しながら、独自で構築した戦略を即座に実行することのできる能力が、スタートアップ経営者のみならず支援側の人材にも間違いなく必須であると考え、それらを身につけるための重要なポイントを解説します。

### 講師

(株)アカデミック・ギャングスター  
代表取締役 中川 卓也氏



### 【略歴】

- ・経産省J-Startupサポーター  
（経産省本省並びに全地域ブロックにて認定）
- ・NEDO事業カタライザー
- ・中小機構挑戦事業メンター
- ・経産省ストックオプション税制改正時アドバイザー
- ・SBMCコンサルティング株式会社 社外アドバイザー（顧問）
- ・一般社団法人スタートアップ協会顧問
- ・東京工業大学非常勤講師
- ・長崎大学客員教授
- ・東京都港区中小企業振興審議会委員
- ・Kawasaki Deep Tech アクセラレーター メンター
- ・広島ユニコーン10 メンター及び審査員 など

# 第2回

2024年8月29日（木）18:00～20:00  
@室蘭工業大学（室蘭市水元町27-1）

2024年度  
HSFC起業人材  
起業支援人材  
育成プログラム

## <産学官協業戦略> スタートアップによる新技術の ビジネス化における大学の知財ガバナンス

### ープログラム紹介ー

大学知財ガバナンスガイドライン」の制定や、これに伴う「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」の改訂により、大学発スタートアップを取り巻く環境は大きく変化してきました。

大学で生まれた無形資産をいかにスタートアップ化して社会に実装していくか、そのために必要な大学と研究者、大企業の知識と実務のアップデートが求められています。

そのなかで実務的に重要なのは、知財移転の対価としてスタートアップが提供する新株予約権の条件とライセンス契約の条件だろうと思います。

また、それらを実際に交渉するときには大学とスタートアップが共通に持っていない「考え方」を理解することも重要です。

本講義では、「大学知財ガバナンスガイドライン」の制定や、オープンイノベーションモデル契約の作成に携わった立場から、大学発スタートアップの資本と知財の戦略と具体的な実務について解説します。

講師  
森・濱田松本法律事務所  
パートナー弁護士 増島 雅和氏



#### 【略歴】

- ・スタートアップの資本戦略と知財戦略を20年以上にわたり支援。
- ・米国シリコンバレーを本拠地とするWilson Sonsini法律事務所にてスタートアップの調達・買収・IPO実務を手掛けた後、2007年に帰国して日本のスタートアップ実務を世界標準にまで引き上げる挑戦を開始。金融庁とシンクタンクでの勤務をきっかけに、2012年から実務の支援と併せて政策提言を通じてスタートアップ環境を改善する活動にも従事、規制改革推進会議を含む多数の政府委員を務める。
- ・スタートアップの起業テーマがITからディープテックに推移するなか、日本の知財実務を世界標準に引き上げるイニシアチブを開始し、特許庁や内閣府をはじめとする政府や大学に知財戦略とこれを実装する実務のアドバイスもしている。2024年、特許庁が主宰するIP BASE AWARDグランプリ受賞。

# 第3回

2024年9月26日（木）18:00～20:00

@公立はこだて未来大学（函館市亀田中野町116番地2）

2024年度  
HSFC起業人材  
起業支援人材  
育成プログラム

## <知財戦略> 大学発スタートアップに必要な知財戦略

### ープログラム紹介ー

講師は、複数の企業の顧問弁理士を務めています。

また、上場に至ったベンチャー企業も複数あります。

これまでの経験を活かし、起業するにあたり必要となる知的財産に関する知識を、事例を通しながら、わかりやすく解説します。

本講義では、主に特許や商標を中心に解説します。

講師  
廣瀬国際特許事務所  
代表 廣瀬 隆行氏



#### 【略歴】

- ・企業知的財産部にて勤務した後、大手法律事務所にて国内外の出願業務のほか、知財訴訟や企業顧問を多く務めた後2007年に独立。
- ・一部上場企業のみならず、ベンチャー企業を含め複数の企業の顧問として、クライアントとともに知的財産戦略の立案を行っている。
- ・現在も技術経営について研究を行っている。
- ・著書に、現代化学での執筆をまとめた「企業人・大学人のための知的財産権入門-特許法を中心に-東京化学同人」など。

# 第4回

2024年10月31日（木）18:00～20:00  
@道東経済センタービル 会議室（釧路市大町1丁目1番1号）

2024年度  
HSFC起業人材  
起業支援人材  
育成プログラム

## ＜組織戦略＞スタートアップの経営を支える法務メソッド ～チームづくりと外部パートナーとの連携～

### ープログラム紹介ー

起業家にとって極めて重要な課題であるチームづくり。

本講義では、多様なメンバーを迎えるために知っておくべき法務の基礎知識について、メンバーの属性に応じたインセンティブ設計、「お別れ」の場面を想定したリスクヘッジなど、実践的な検討ポイントも踏まえ分かりやすく解説します。

また、事業を飛躍的に成長させるうえで必須となる資金調達や業務提携など、外部パートナーとの連携についても、起業家として知っておくべき法務の基礎的な概念をコンパクトにお伝えします。

講師  
シテューワ法律事務所  
パートナー弁護士 岡田 美香氏



#### 【略歴】

- ・明治大学法学部卒 IT・テクノロジーを強みとするスタートアップ企業の支援に力を入れており、資金調達、新規ビジネスモデルの法規制のクリアランス、契約・規約の作成、他社との業務提携やM&Aなど、法務顧問としてビジネスを加速させるためのリーガルコンサルティングを日常的に行っている。
- ・アクセラレーションプログラム「ZEN TECH DOJO」リーガル・メンター / 日本ライセンス協会理事（産官学連携活用WGリーダー） / 相模女子大学大学院社会起業研究科 2021年より講師就任（「ベンチャービジネスと企業法」担当）

# 第5回

2024年11月27日（水）18:00～20:00  
@旭川工業高等専門学校（旭川市春光台2条2丁目1-6）

2024年度  
HSFC起業人材  
起業支援人材  
育成プログラム

## ＜知財契約実践＞ 研究開発型スタートアップ。 大学発スタートアップのための知財・契約実践について

### ープログラム紹介ー

大学発スタートアップを含む研究開発型スタートアップは、有望な技術シーズを持ち大きく成長する可能性を秘めている一方で、研究開発型スタートアップ特有の事情として、大企業や大学との間での技術提携・事業提携等を行うことが必須であること、研究開発に多額の資金を要し深く長い赤字を掘る必要性があるため外部投資家から資金調達を受けるニーズが高い、という特徴があります。

いずれの特徴との関係でも、スタートアップが自らの技術シーズ・知的財産を生かしつつ確実に生き残り、成長するためには、自らの強みを生かし提携先や外部投資家としたたかな契約交渉が必要です。

そこで、本講義では、研究開発型スタートアップが大企業や大学との間で技術提携・事業提携を行う際の基本的な事項について網羅的に解説すると共に、特許庁が公表しているモデル契約書雛形をもとに、研究開発型スタートアップが契約締結交渉を行う場合に、どこを譲ってどこを譲ってはならないのかについて契約書の各条項に具体的・実践的に解説をいたします。

講師  
弁護士法人STORIA法律事務所  
代表・パートナー弁護士 柿沼 太一氏



#### 【略歴】

- ・1997年京都大学法学部卒業。2000年弁護士登録。2015年にスタートアップのサポートを重点的に取り扱うSTORIA法律事務所を共同設立して現在に至る。
- ・専門分野はスタートアップ法務、AI・データ法務、ヘルスケア法務。現在、様々なジャンル（医療・製造業・プラットフォーム型等）のAIスタートアップを、顧問弁護士として多数サポート。
- ・経済産業省「AI・データ契約ガイドライン」検討会検討委員（～2018.3／スタートアップファクトリー構築事業に係る契約ガイドライン検討会構成員（2018年）日本ディープリング協会（JDLA）有識者委員（2020.5～）日本データベース学会理事（2020.8～）／「第2回 IP BASE AWARD」知財専門家部門グランプリを受賞（2021）／「オープンイノベーションを促進するための技術分野別契約ガイドラインに関する調査研究」委員会事務局（2021）

2024年12月19日（木） 18:00～20:00  
@北見工業大学（北見市公園町165番地）

2024年度  
HSFC起業人材  
起業支援人材  
育成プログラム

## <資金調達>

### ディープテックスタートアップの成長戦略と資金調達

#### ープログラム紹介ー

社会的課題を解決し、社会や環境にポジティブなインパクトをもたらすディープテックスタートアップへの期待が多くのステークホルダーの間で高まっています。その一方で、事業化までに長い期間を要すること、研究開発先行で赤字であること、評価に高度な専門性が要求されるなど、資本市場との対話において固有の課題が存在します。

本講義では、ギャップファンドの整備に伴って注目が集まる大学発スタートアップの設立プロセスや、VCによるCompany Creation Modelの実務や課題を整理します。また、主にバイオベンチャーを題材に、産学連携における論点、事業モデルや事業化戦略、投資評価や資本政策のポイント、大きな議論になっている上場時のValuation問題について解説していきます。

#### 講師

(株)ファストトラックイニシアティブ  
代表パートナー 安西 智宏氏



#### 【略歴】

- ・独立系ベンチャーキャピタルであるファストトラックイニシアティブのファンド運営責任者としてバイオ・ヘルステック領域の案件発掘から企業設立、育成、投資回収までの業務全般を担当。代表取締役としての投資先企業の設立をはじめ、ハンズオンでの経営支援に16年超の実績を有する。
- ・FTI参画前は、アーサー・D・リトル（ジャパン）株式会社で国内外企業への経営コンサルティングに従事。東京大学特任准教授、京都大学客員准教授、「バイオベンチャーと投資家の対話促進研究会」等の政府系委員を歴任。「Japan Venture Award 2021」ベンチャーキャピタリスト奨励賞、Forbes JAPAN「日本で最も影響力のあるベンチャー投資家 2021」第2位。
- ・1999年東京大学理学部生物学科卒業。2004年同大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了。博士（生命科学）。マサチューセッツ工科大学（MIT）スローン校AMP修了。主な投資実績：モダリス（4883）、アキュルナ（M&A）、ブライトパス・バイオ（4594）、カイオム・バイオサイエンス（4583）、モジュラス、PuREC、ファストドクター、エーテンラボ など

# 第7回

2025年1月30日（木）18:00～20:00

@北海道大学 フード&メディカルイノベーション国際拠点

（札幌市北区北21条西11丁目）

2024年度  
HSFC起業人材  
起業支援人材  
育成プログラム

## ＜資本政策＞ 金融資本戦略、失敗の本質

### ープログラム紹介ー

日本のベンチャーエコシステムの問題点の一つは、資本主義の本質であるステークホルダー間に存在する利益相反の認識、金融市場や有価証券やファイナンスに係る資本政策がいかに重要かについての知見や情報が圧倒的に欠如していることです。

事業戦略と金融資本戦略は、潜在的なリスクの洞察がされにくく、気づいた時には手遅れ、あるいは、的確なアクションの選択肢が残されていない、というケースが後を絶ちません。

重要なのは、研究や事業を進めるにあたっての資金の確保ですが、外部からの資金や資本の調達を、いつ、どのように、誰から調達すればクオリティの高い性質のファイナンスになるのか、事前に数多くの知識や調査やシミュレーションなどの準備とそれに沿った活動を行うことによって体得することが必要です。

本講義では、そのための考え方や手法等を解説します。

### 講師

(株)アカデミック・ギャングスター  
代表取締役 中川 卓也氏



### 【略歴】

- ・経産省J-Startupサポーター  
（経産省本省並びに全地域ブロックにて認定）
- ・NEDO事業カタライザー
- ・中小機構挑戦事業メンター
- ・経産省ストックオプション税制改正時アドバイザー
- ・SBMCコンサルティング株式会社 社外アドバイザー（顧問）
- ・一般社団法人スタートアップ協会顧問
- ・東京工業大学非常勤講師
- ・長崎大学客員教授
- ・東京都港区中小企業振興審議会委員
- ・Kawasaki Deep Tech アクセラレーター メンター
- ・広島ユニコーン10 メンター及び審査員 など

# 第8回

2025年2月27日（木）18:00～20:00

@エア・ウォーターの森（予定）（札幌市中央区北8条西13丁目28-21）

2024年度  
HSFC起業人材  
起業支援人材  
育成プログラム

## <人材開発とインセンティブ設計>

### エクイティファイナンスにおける優先株と新株予約権の実務

#### ープログラム紹介ー

新株予約権の実務に関して、税務・法務・会計・金融工学の面では一定のルール等が確立されており、これを知らずに運用すると付与対象者や発行体に損失が発生したり、後々のトラブルの原因となります。

スタートアップにおいて、採用や人材開発における報酬やインセンティブは独自のスキーム策定が必要であり、かつそれは資本政策との整合性が重要です。チームづくりにおいては、人材組織開発やダイバーシティの必要性を意識すべきですが、特にスタートアップの経営にあたっては、どのようなインセンティブ制度の設計が最善かを経営哲学との関係性の中で予め決めておかなければなりません。また、アカデミアにおいては、大学当局への発行事例が増えており、利益相反などの課題が満載です。

本講義では、これらに深い考察を交えながら解説します。

#### 講師

(株)アカデミック・ギャングスター  
代表取締役 中川 卓也氏



#### 【略歴】

- ・経産省J-Startupサポーター  
（経産省本省並びに全地域ブロックにて認定）
- ・NEDO事業カタライザー
- ・中小機構挑戦事業メンター
- ・経産省ストックオプション税制改正時アドバイザー
- ・SBMCコンサルティング株式会社 社外アドバイザー（顧問）
- ・一般社団法人スタートアップ協会顧問
- ・東京工業大学非常勤講師
- ・長崎大学客員教授
- ・東京都港区中小企業振興審議会委員
- ・Kawasaki Deep Tech アクセラレーター メンター
- ・広島ユニコーン10 メンター及び審査員 など